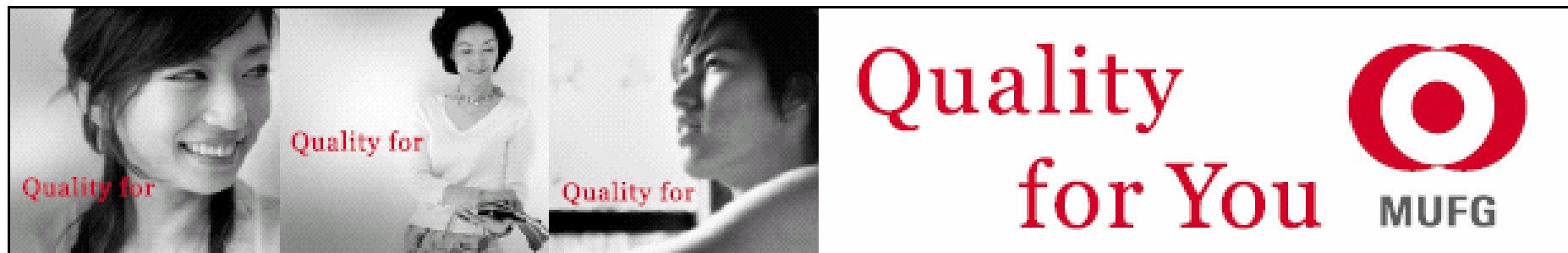

三菱UFJフィナンシャル・グループ

2005年度第3四半期業績の概要

(2005年4月～2005年12月)

2006年2月15日



本書には、株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（以下「当社」という）およびそのグループ会社（以下「当グループ」という）に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、当社が現在入手している情報に基づく、本書の作成時点における予測等を基礎として記載されています。また、これらの記述のためには、一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述または前提（仮定）は主観的なものであり、将来において不正確であることが判明したり、将来実現しない可能性があります。このような事態の原因となりうる不確実性やリスクは多数ありますが、これらに関する追加情報については、当社の決算短信、今後発行される有価証券報告書、ディスクロージャー誌、Annual Reportをご参照下さい。なお、本書における将来情報に関する記述は上記のとおり本書の日付（またはそこに別途明記された日付）時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。また、本書に記載されている当社ないし当グループ以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておりません。また、これを保証するものではありません。

なお、本書の計数は日本会計基準ベースの数値を使用しています。

<本資料における計数の定義>

- 連結合算** : 三菱UFJフィナンシャル・グループ（連結）。2005年度中間期以前の計数については、三菱東京フィナンシャル・グループ(連結)とUFJホールディングス(連結)の単純合算
- 単体合算** : 東京三菱銀行（単体）、UFJ銀行（単体）および三菱UFJ信託銀行（単体）の単純合算。2005年度中間期以前の計数については、東京三菱銀行（単体）、UFJ銀行（単体）、三菱信託銀行（単体）及びUFJ信託銀行（単体）の単純合算

・特に断りのない限り、UFJ銀行にはUFJストラテジックパートナー、UFJエクイティインベストメンツを、UFJ信託銀行にはUFJトラストエクイティを含む

- 2005年度第3四半期業績サマリー (P/L) 3
- 2005年度第3四半期業績サマリー (B/S) 4
- 貸出金・預金 5
- その他有価証券 6
- 自己資本比率 7
- 金融再生法開示債権・与信関係費用 8
- 2005年度業績予想 9

2005年度第3四半期業績サマリー(P/L)

【連結合算】



(億円)

● 連結粗利益は前年同期比+1,327億円

- 資金利益は前年同期比▲112億円と微減
- 役務取引等利益は、運用商品販売手数料の増加等により同+1,194億円
- 為替売買益等の好調により特定取引利益、その他業務利益（除く国債等債券関係損益）は合算で同+1,114億円

● 営業費は前年同期比+1,115億円

● 与信関係費用は前年同期比9,108億円改善し、2,828億円の益に

● 四半期純利益は前年同期の赤字から10,264億円の黒字に転換

<連結合算P/L>

	04年度第3四半期 (04/4~12) *2	05年度第3四半期 (05/4~12) *2	増減
1 業務粗利益（信託勘定償却前）	24,864	*1 26,191	1,327
2 うち資金利益	13,402	13,290	▲ 112
3 うち役務取引等利益	6,586	7,780	1,194
4 うち特定取引等利益	1,580	846	▲ 734
5 うちその他業務利益	2,346	3,432	1,085
6 うち国債等債券関係損益	1,173	409	▲ 763
7 営業費	12,765	*1 13,880	1,115
8 実質業務純益	12,162	12,320	157
9 臨時損益	▲ 13,831	▲ 1,355	12,476
10 経常利益（損失）	▲ 1,731	10,956	12,688
11 特別損益	5,638	4,094	▲ 1,543
12 四半期純利益（損失）	▲ 1,015	10,264	11,280
13 与信関係費用*3	▲ 6,280	2,828	9,108
14 与信関係費用*3（単体合算）	▲ 5,437	4,047	9,485

(▲は費用)

*1 新たに05年度第3四半期から連結対象となった主要子会社の粗利益約1,000億円、営業費約580億円を含む（但し、連結調整前の概算値）

*2 04年度第3四半期は旧MTFG連結と旧UFJH連結の単純合算、05年度第3四半期は旧MTFG連結（4~9月）、旧UFJH連結（4~9月）、MUFG連結（10~12月）の単純合算

*3 与信関係費用=信託勘定与信関係費用（業務粗利益内）+一般貸倒引当金繰入額+与信関係費用（臨時損益内）+貸倒引当金戻入額



(億円)

- 貸出金は海外貸出や住宅ローンの増加等を主因に前年度末比+21,925億円
- 預金は法人預金の減少を主因に同 9,644億円
- 金融再生法開示債権は同 7,844億円と引き続き減少
 - 開示債権比率は2.41%に低下
- 05/12末の自己資本比率は11.51%
 - Tier1比率 5.99%
- 繰延税金資産対Tier1比率は8.7%に低下

<連結合算B/S>

	05年3月末	05年12月末	増減
1 貸出金(銀行勘定+信託勘定)	850,031	*1 871,957	21,925
[貸出金(銀行勘定)]	[838,010]	[868,211]	30,200
2 うち住宅ローン(単体合算)*2	182,022	186,617	4,595
3 有価証券	505,941	512,567	6,625
4 預金	1,182,744	1,173,100	▲ 9,644

5 金融再生法開示債権(単体合算)	30,080	22,236	▲ 7,844
6 開示債権比率(単体合算)	3.33%	2.41%	▲0.91%
7 国内株式評価差額(その他有価証券で時価があるもの)	13,483	24,980	11,496

<ご参考>

	05年9月末	05年12月末
8 自己資本比率(Tier1比率)*3	12.00% (6.52%)	11.51% (5.99%)
9 繰延税金資産(ネット)対Tier1比率*3	14.4%	8.7%

*1 新たに05年度第3四半期より連結対象となった主要子会社貸出金約8,800億円を含む(但し、連結調整前の概算値)

*2 賃貸用不動産建築資金を含む

*3 05年9月末のTier1額からは、旧MTFGからUFJ銀行に対する7,000億円の優先株出資の影響を控除済



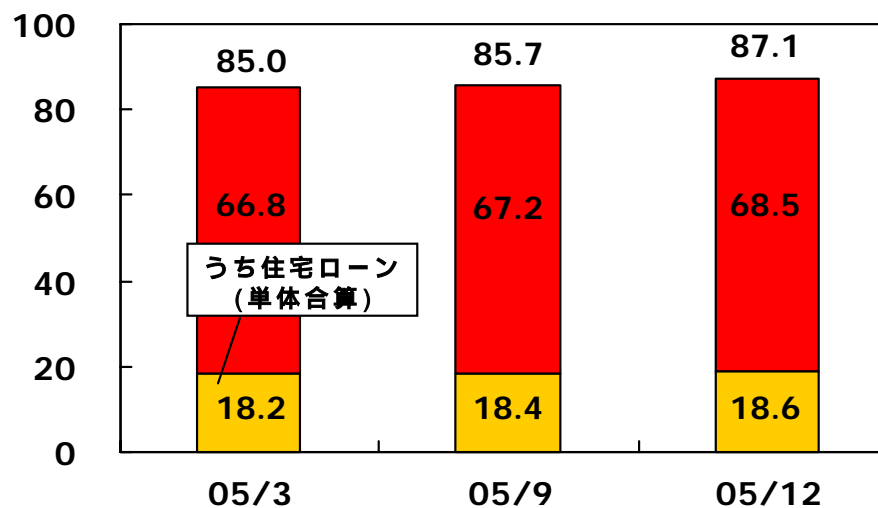
●貸出金残高は87.1兆円に増加 (05/9比+1.4兆円)

<05/9比増減の主要因>

- 住宅ローン +0.1兆円
- 海外貸出*1 +0.9兆円
- 主要子会社連結化 +0.8兆円

*1 海外支店+海外現法 (UNBC+東京三菱銀行信託会社)

(兆円) 連結貸出金(未残)*2



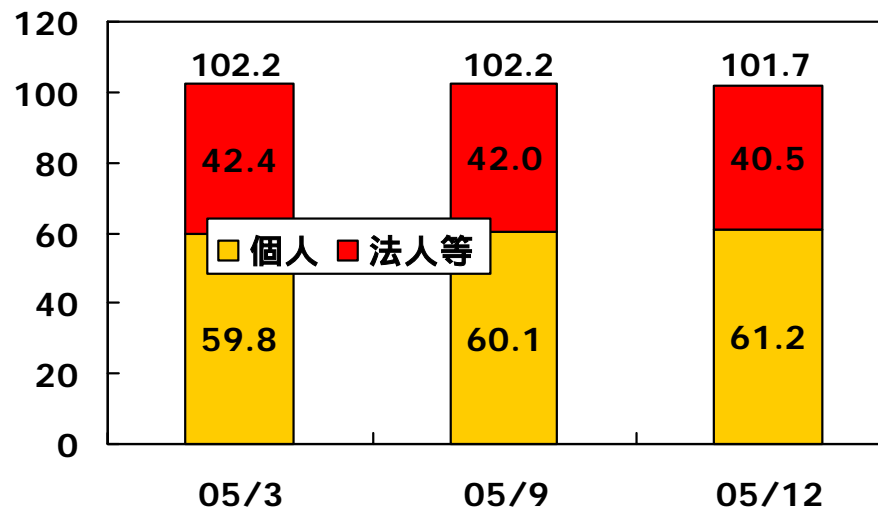
*2 銀行勘定と信託勘定の合算

●国内店預金残高101.7兆円 (05/9末比 0.4兆円)

<05/9比増減の主要因>

- 個人預金 +1.0兆円
- 法人等預金 1.5兆円

(兆円) 国内店預金(未残)*3

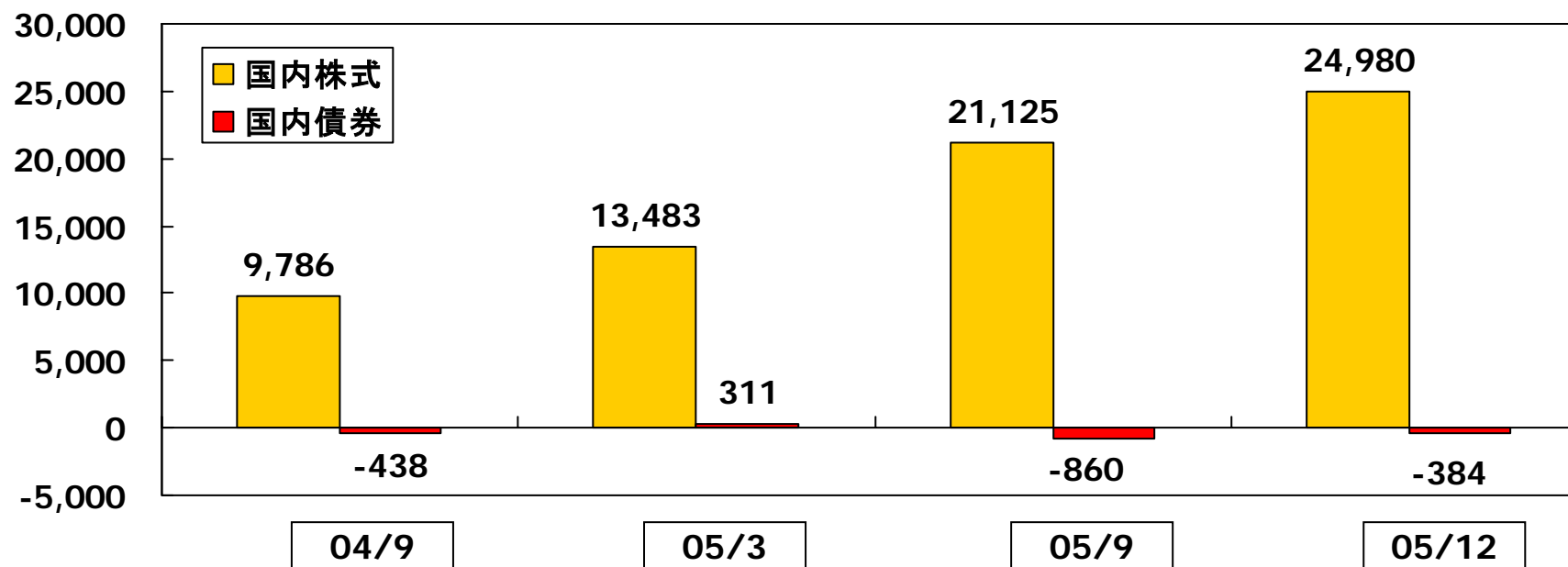


*3 単体合算、譲渡性預金・特別国際金融取引勘定分を除く

- 05/12末のその他有価証券含み益は約2.4兆円
 ~株価の上昇を背景に株式含み益が05/9末比3,854億円増加

(億円) 有価証券含み損益（国内株式・国内債券）※

※ その他有価証券で時価があるもの



国内株式保有額 (時価)	5.01兆円	5.24兆円	5.93兆円	6.92兆円
国内債券保有額 (時価)	31.89兆円	29.01兆円	28.42兆円	26.95兆円

(兆円)

- 05/12末の自己資本比率は11.51%
Tier1比率は5.99%

< 公的資金優先株の返済 >

- 2005年10月：3,236億円返済
- 2005年12月：2,559億円返済
(但し、うち755億円は農林中金に譲渡)

< リスクアセット >

- 05/9末比で約6兆円増加
(UFJニコス連結化、株式時価の増加、円安要因など)

	05/12 (速報値)
Tier1	6.51
うち公的資金	0.82
Tier2	6.30
うち自己資本に計上されたその他有価証券含み益	1.24
うち自己資本に計上された再評価差額	0.16
うち劣後ローン(債券)残高	3.82
リスクアセット	108.70
自己資本比率	11.51%
Tier1比率	5.99%

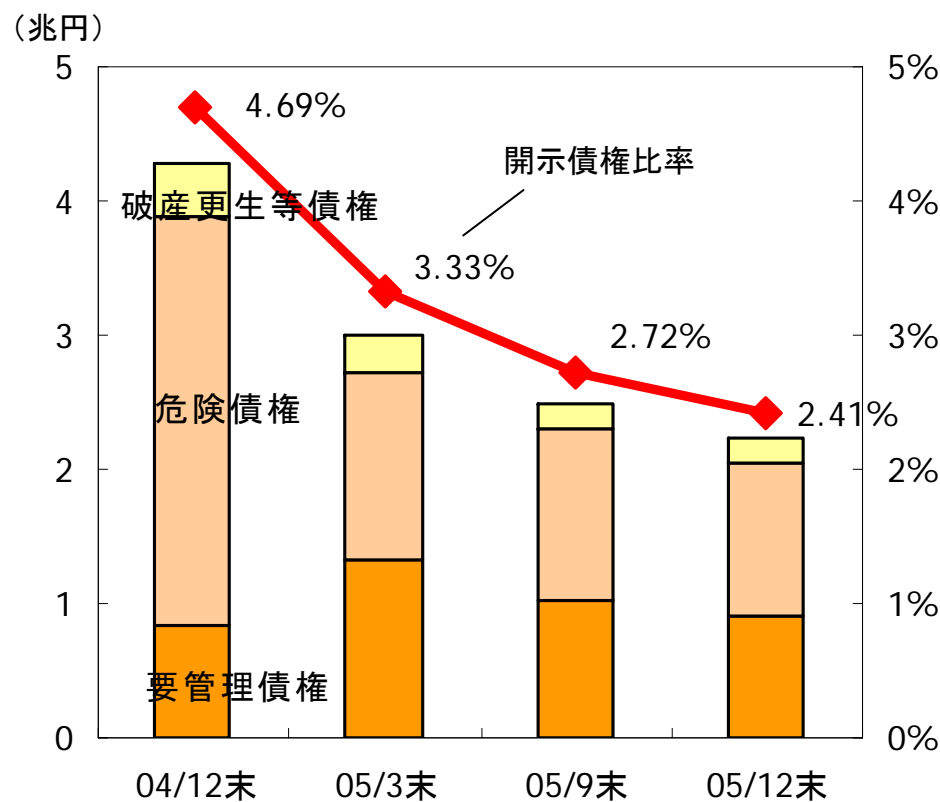
(参考)05/9末の自己資本比率(単純合算ベース)は12.00%、Tier1比率は6.52%
(ただし以下の前提で算出)

- ・Tier1は単純合算額から7,000億円(MTFGよりUFJ銀行への資本注入額)をマイナス調整
- ・旧UFJHのTier2不算入額(1,378億円)を戻し入れ

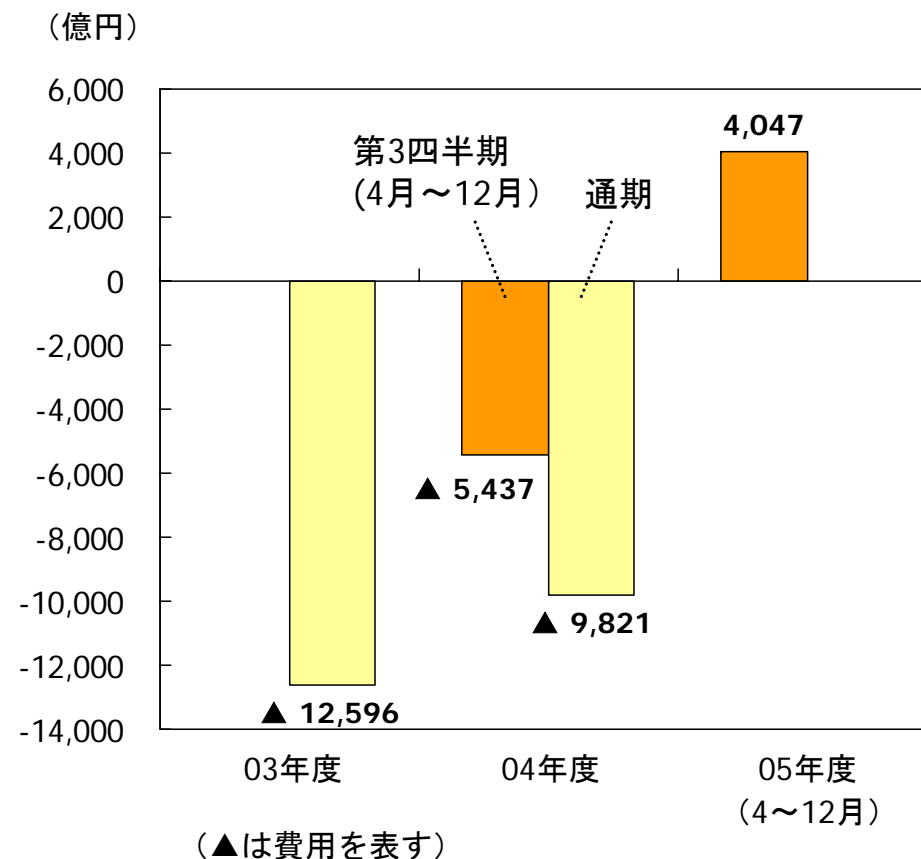


- 貸出資産の質は引続き改善、開示債権比率は2.41%に低下
- 与信関係費用は貸倒引当金戻入により、4,047億円の益を計上

金融再生法開示債権残高



与信関係費用



2005年度業績予想

【連結合算】

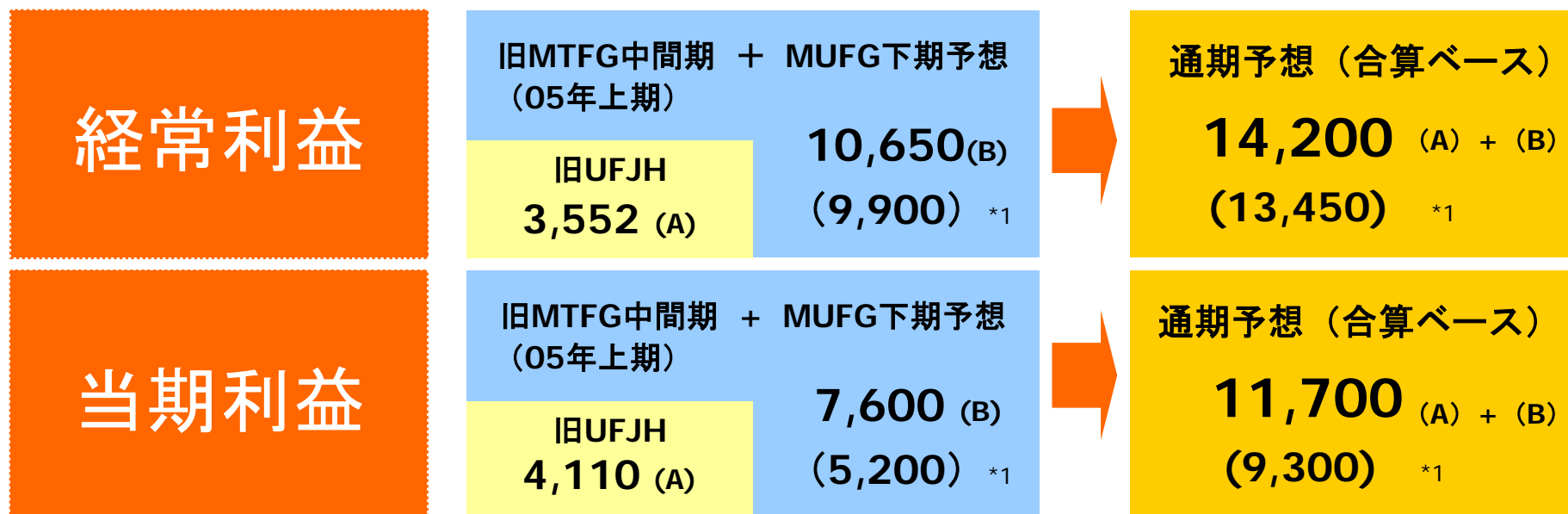


- 貸倒引当金戻入益の増加等を主因に2005年度業績予想を上方修正
- 同時に普通株式の期末配当予想額を増額修正

2005年度通期業績予想

(単位：億円)

【ご参考】 MUFG予想+旧UFJH上期



*1 () 内は2005年11月24日公表の業績予想

普通株式一株あたり配当金予想 (優先株式配当予想は変更なし)

	中間配当(実績)	期末配当金(予想)	年間配当金(予想)
前回予想(05/11/24公表)	3,000円	3,000円	6,000円
今回修正予想	3,000円	4,000円	7,000円